

すみれこども園避難確保計画

対象災害：水害（洪水 高潮 津波）

【施設名：すみれこども園】

2024 年 8 月 作成

基本情報

基本情報

計画の名称 すみれこども園避難確保計画

対象災害 ☒ 洪水 ☒ 高潮 ☒ 津波

作成年月 2024 年 8 月

自衛水防組織設置の有無 ☐ 有 ☒ 無

添付ファイル

登録されているファイルはありません

施設情報



施設名称 すみれこども園

事業所番号 1

事業所番号 2

事業所番号 3

事業所番号 4

事業所番号 5

運営主体 民間施設

所在地  中川区水里3丁目48番地

行政区 中川区

学区 戸田

担当者 岡田 悠揮

電話番号 052-301-0011

主メール sumire@shisuikai.or.jp

補助メール

施設特性 1 学校 幼保連携型認定こども園

施設特性 2

施設特性 3

施設特性 4

施設特性 5

洪水 3.0～5.0m未満

雨水出水 275mm

高潮 3.0～5.0m未満

津波 0.5～3.0m未満

土砂災害 対象外

家屋倒壊等氾濫想定区域内の有無 ☐ 有 ☒ 無

土砂災害（特別）警戒区域における種別 ☐ 土石流 ☐ 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

地域防災計画 記載年月 H29.6 削除年月

計画概要

計画の目的

記入例

この計画は、本施設の利用者の水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

関連法 水防法、津波防災地域づくりに関する法律

施設の概要

利用形態 ☒ 通所 ☐ 入所（長期） ☐ 入所（短期） 建物の階数 2 階

施設の人数

平日				休日			
幼児・児童・生徒		職員		幼児・児童・生徒		職員	
昼間	約 84人	約 17人		約 0人	約 0人		
夜間	約 0人	約 0人		約 0人	約 0人		

施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害（洪水、雨水出水、高潮、津波）

		最大浸水深	3.0～5.0m未満
洪水浸水想定区域（洪水）	☐ 該当なし	浸水継続時間	対象外
	☒ 該当	家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
		☒ 該当なし ☐ 該当	
雨水出水浸水想定区域（雨水出水）	☒ 該当なし	最大浸水深	対象外
	☐ 該当	浸水継続時間	対象外
高潮浸水想定区域（高潮）	☐ 該当なし	最大浸水深	3.0～5.0m未満

☒ 該当 浸水継続時間 対象外

津波災害警戒区域
(津波) ☐ 該当なし 基準水位 0.5～3.0m未満
☒ 該当 津波到達時間 対象外

土砂災害

土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域 ☒ 該当なし ☐ 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）
☐ 該当 ☐ 土石流

河川詳細

対象河川	該当有無		最大浸水深	家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
庄内川	☐ 該当なし	☒ 該当	0.5～3.0m未満	☒ 該当なし	☐ 該当
矢田川（国管理）	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
木曽川	☐ 該当なし	☒ 該当	3.0～5.0m未満	☒ 該当なし	☐ 該当
新川	☐ 該当なし	☒ 該当	0.5～3.0m未満	☒ 該当なし	☐ 該当
天白川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
日光川	☐ 該当なし	☒ 該当	0.5～3.0m未満	☒ 該当なし	☐ 該当
山崎川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
扇川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
蟹江川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
福田川	☐ 該当なし	☒ 該当	0.5～3.0m未満	☒ 該当なし	☐ 該当
大山川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
八田川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
五条川	☐ 該当なし	☒ 該当	0.5～3.0m未満	☒ 該当なし	☐ 該当
香流川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
矢田川（県管理）	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当
内津川	☒ 該当なし	☐ 該当	対象外	☒ 該当なし	☐ 該当

計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

防災体制

防災体制【洪水】

記入例

防災体制確立時の組織構成と役割分担

レベル	総括指揮者 全体を指揮 責任者 施設長 人数 1 名	情報連絡班 情報収集や伝達 責任者 施設長 人数 1 名	避難誘導班 利用者の避難支援 責任者 施設長 人数 0 名	装備品等準備班 設備や装備品等の点検・準備 責任者 施設長 人数 0 名
警戒レベル 1 ↓ 災害への心構えを高める段階	- 状況把握、指揮 - 施設職員等招集	- 気象情報等収集 - 施設職員への情報伝達		
警戒レベル 2 ↓ 注意体制	- 状況把握、指揮 - 施設職員等招集	- 気象情報、水位情報 - 避難情報、避難先情報等の収集 - 施設職員や避難支援協力者へ連絡	- 避難誘導体制の確認 - 避難ルートの確認	避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等点検し準備
警戒レベル 3 ↓ 警戒体制	- 状況把握、指揮 - 避難開始判断	- 避難情報等の情報収集 - 保護者への事前連絡 - 周辺住民への事前協力依頼	避難誘導開始	- 移動用車両の確保 - 避難先への持ち出し品等を運搬
警戒レベル 4 ↓ 非常体制	- 状況把握、指揮 - 避難先での監督	- 市町村等への連絡 - 施設職員への情報伝達	- 避難完了の確認 - 避難先での利用者支援	避難先への持ちだし品等の確認

警戒レベル1
↓
災害への心構え
を高める段階

- 警報級の可能性（大雨警報または暴風警報）「中」または「高」が発表された場合
- 台風の接近が予想されている場合

警戒レベル2
↓
注意体制

- 大雨または洪水注意報が発表された場合
- 庄内川氾濫注意情報が発表された場合
- 木曽川氾濫注意情報が発表された場合
- 新川氾濫注意情報が発表された場合
- 日光川氾濫注意情報が発表された場合
- 福田川氾濫注意情報が発表された場合
- 五条川氾濫注意情報が発表された場合

警戒レベル3
↓
警戒体制

- 高齢者等避難が発令された場合
- 大雨または洪水警報が発表された場合
- 庄内川氾濫警戒情報が発表された場合
- 木曽川氾濫警戒情報が発表された場合
- 新川氾濫警戒情報が発表された場合
- 日光川氾濫警戒情報が発表された場合
- 福田川氾濫警戒情報が発表された場合
- 五条川氾濫警戒情報が発表された場合

警戒レベル4
↓
非常体制

- 避難指示が発令された場合
- 雨水出水氾濫危険情報が発表された場合
- 庄内川氾濫危険情報が発表された場合
- 木曽川氾濫危険情報が発表された場合
- 新川氾濫危険情報が発表された場合
- 日光川氾濫危険情報が発表された場合
- 福田川氾濫危険情報が発表された場合
- 五条川氾濫危険情報が発表された場合

事前休業の判断について

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

開業時間と利用者の通所にかかる時間を考慮して、休業の判断をする。

防災体制【高潮】

記入例

防災体制確立時の組織構成と役割分担

レベル	総括指揮者 全体を指揮 責任者 施設長	情報連絡班 情報収集や伝達 責任者 施設長	避難誘導班 利用者の避難支援 責任者 施設長	装備品等準備班 設備や装備品等の点検・準備 責任者 施設長
	人数 1 名	人数 1 名	人数 0 名	人数 0 名
警戒レベル 1 ↓ 災害への心構えを高める段階	- 状況把握、指揮 - 施設職員等招集	- 気象情報等収集 - 施設職員への情報伝達		
警戒レベル 2 ↓ 注意体制	人数 1 名 - 状況把握、指揮 - 施設職員等招集	人数 1 名 - 気象情報、水位情報 - 避難情報、避難先情報等の収集 - 施設職員や避難支援協力者へ連絡	人数 8 名 - 避難誘導體制の確認 - 避難ルートの確認	人数 1 名 避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等点検し準備
警戒レベル 3 ↓ 警戒体制	人数 1 名 - 状況把握、指揮 - 避難開始判断	人数 1 名 - 避難情報等の情報収集 - 保護者への事前連絡 - 周辺住民への事前協力依頼	人数 10 名 - 使用する資器材の準備 - 避難誘導開始	人数 2 名 - 移動用車両の確保 - 避難先への持ち出し品等を運搬
警戒レベル 4 ↓ 非常体制	人数 1 名 - 状況把握、指揮 - 避難先での監督	人数 1 名 - 市町村等への連絡 - 施設職員への情報伝達	人数 12 名 - 避難完了の確認 - 避難先での利用者支援	人数 2 名 避難先への持ちだし品等の管理

- 台風の接近が予想されている場合

警戒レベル1



災害への心構えを高める段階

警戒レベル2



注意体制

- 高潮注意報（警報級に切り替える可能性に言及されていないもの）が発表された場合

警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・ 高齢者等避難が発令された場合 ・ 高潮注意報（警報級に切り替える可能性高い）が発表された場合
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・ 避難指示が発令された場合 ・ 高潮警報または高潮特別警報が発表された場合

事前休業の判断について

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

開業時間と利用者の通所にかかる時間を考慮して、休業の判断をする。

防災体制【津波（到達時間が短い場合）】

記入例

防災体制確立時の組織構成と役割分担							
レベル	総括指揮者	情報連絡班	避難誘導班	装備品等準備班			
	全体を指揮 責任者 施設長	情報収集や伝達 責任者 施設長	利用者の避難支援 責任者 施設長	設備や装備品等の点検・準備 責任者 施設長			
	人数 1 名	人数 1 名	人数 1 名	人数 1 名			
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・ 状況把握、指揮 ・ 避難開始判断 ・	・ 気象情報・水位情報、避難情報の収集 ・	・ 避難誘導開始	・ 要配慮者等の装備品の装着			
	人数 1 名	人数 1 名	人数 12 名	人数 2 名			
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・ 状況把握、指揮 ・ 避難先での利用者支援の監督 ・ （緊急安全確保に判断）	・ 気象情報・水位情報、避難情報の収集 ・ ・	・ 避難完了の確認 ・ 避難先での利用者支援 ・ （緊急安全確保の誘導）	・ 避難先での持ち出し品等の管理			

警戒レベル3
↓
警戒体制

- 地震に伴う強い揺れ又は長時間ゆっくりとした揺れを感じた場合
- 津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合
- 避難指示が発令された場合

津波は 20cm から 30cm 程度の高さであっても、急で強い流れが生じるため、これに巻き込まれて流されれば、命を脅かされる可能性があることから、大津波警報・津波警報・津波注意報のいずれが発表された場合であっても、危険な地域からの一刻も早い避難行動をとる必要がある。

また、震源が沿岸に近い場合は地震発生から津波来襲までの時間が短いことから、少しでも早く避難する必要があり、津波災害警戒区域等に居るときに強い揺れ（震度 4 程度以上）又は長時間ゆっくりとした揺れを感じた者は、気象庁の津波警報等の発表や市町村からの避難指示の発令を待たずに、自主的かつ速やかに避難行動をとることが必要である。

防災体制【津波（到達時間が長い場合）】

記入例

防災体制確立時の組織構成と役割分担								
レベル	総括指揮者 全体を指揮		情報連絡班 情報収集や伝達		避難誘導班 利用者の避難支援		装備品等準備班 設備や装備品等の点検・準備	
	責任者 施設長		責任者 施設長		責任者 施設長		責任者 施設長	
警戒レベル 2 ↓ 注意体制	人数	1 名	人数	1 名	人数	1 名	人数	1 名
	・ 状況把握、指揮 ・ 施設職員等招集 ・ （避難開始）		・ 気象情報、水位情報、避難情報 避難先情報の収集 ・ 施設職員や避難支援協力者への連絡		・ 避難誘導体制の確認 ・ 避難ルートの確認 ・ （避難誘導開始）		・ 避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等品等を点検し準備 ・ 移動用車両の手配	
警戒レベル 3 ↓ 警戒体制	人数	1 名	人数	1 名	人数	10 名	人数	2 名
	・ 状況把握、指揮 ・ 避難開始判断 ・ ・		・ 避難情報等の情報収集 ・ 保護者への事前連絡 ・ 周辺住民への事前協力依頼		・ 避難誘導開始		・ 移動用車両の確保 ・ 避難先への持ち出し品等を運搬	
警戒レベル 4 ↓ 非常体制	人数	1 名	人数	1 名	人数	12 名	人数	2 名
	・ 状況把握、指揮 ・ 避難先での監督		・ 市町村等への連絡 ・ 施設職員への情報伝達		・ 避難完了の確認 ・ 避難先での利用者支援		・ 避難先への持ちだし品等の確認	



- 「遠地地震に関する情報」の中で津波の到達予想時刻等の情報が発表された場合
- 高齢者等避難が発令された場合
- 津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合
- 避難指示が発令された場合

我が国から遠く離れた場所で発生した地震に伴う津波のように到達までに相当の時間があるものについては、気象庁が、津波警報等が発表される前から津波の到達予想時刻等の情報を「遠地地震に関する情報」の中で発表する場合がある。

市町村は、この「遠地地震に関する情報」の後に津波警報等が発表される可能性があることを認識し、津波警報等の発表前であっても、必要に応じて高齢者等避難の発令を検討するものとなっている。

施設利用者の人数や特性等から、施設利用者の避難完了に多くの時間を要する場合には、気象庁の津波警報等の発表や市町村からの避難指示の発令を待たずに、自主的かつ速やかに避難行動をとることが必要である。

情報収集・伝達

情報収集・伝達

記入例

情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

	収集すべき情報	入手先
共通 の 情 報	【防災気象情報（気象庁）】 ・ 早期注意情報（警報級の可能性）	・ テレビ ・ ラジオ ・ インターネット
	【避難情報（市町村）】 ・ 警戒レベル3 高齢者等避難 ・ 警戒レベル4 避難指示 ・ 警戒レベル5 緊急安全確保	・ 防災スピーカー ・ 広報車等の広報等 ・ テレビ・ラジオ ・ 電子メール ・ SNS ・ 名古屋市の避難情報に係る緊急速報メール ・ インターネット
	【避難所の開設状況（市町村）】 ・ 指定緊急避難場所や福祉避難所の開設状況	・ テレビ ・ ラジオ ・ インターネット
	道路の通行止め情報	・ テレビ ・ ラジオ ・ インターネット
洪水	・ 洪水注意報、洪水警報 ・ 大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・ キキクル（大雨・洪水警報の危険度分布） ・ 洪水予報 ・ 氾濫注意情報、氾濫警戒情報 ・ 氾濫危険情報、氾濫発生情報	・ テレビ ・ ラジオ ・ インターネット
高潮	・ 高潮注意報、高潮警報、高潮特別警報	・ テレビ ・ ラジオ ・ インターネット
津波	・ 津波注意報、津波警報、大津波警報	・ テレビ

収集すべき情報

入手先

- ・ ラジオ
- ・ インターネット

情報伝達

	対象 情報	主な入 手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発 信 者	情報伝達先
警戒レベル 1	早期注 意情報	統括指揮 者の判断 を確認	①「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、競う情報、避難情報等の情報を施設内関係者間で共有する。 ②名古屋市から利用者の避難状況	施設 長	施設職員
警戒レベル 2	事前お 知らせ	統括指揮 者の判断 を確認	大雨等による送迎時の注意喚起	施設 長	園児・園児の 家族
	大雨注 意情報	インター ネット 統括指揮 者の判断 を確認	大雨注意報が発令されました。注意体制をとる段階です。	施設 長	施設職員
警戒レベル 3	高齢者 等避難	インター ネット 統括指揮 者の判断 を確認	高齢者等避難が発令されました。休園、避難を開始します。	施設 長	園児・園児の 保護者・施設 職員
	大雨警 報	インター ネット	大雨警報が発令されました。警戒体制をとる段階です。	施設 長	園児・園児の 保護者・施設 職員
	氾濫警 戒情報	インター ネット	庄内川・新川に氾濫警戒情報が発表されました。	施設 長	園児・園児の 保護者・施設 職員
警戒レベル 4	避難指 示	インター ネット	避難指示が発令されました。	施設 長	園児・園児の 保護者・施設 職員
	氾濫危 険情報	インター ネット	庄内川・新川に氾濫危険情報が発表されました。	施設 長	園児・園児の 保護者・施設 職員

避難誘導

避難誘導

記入例

避難先、移動距離及び避難方法

避難場所及び屋内安全確保を図る場所は下表のとおりとする。また、悪天候の中の避難や、夜間の避難は危険を伴う事から家屋倒壊のおそれがなく。想定浸水深よりも高い避難場所がある場合には、屋内安全確保を図るものとする。その場合は、備蓄物資を用意する。

洪水	避難先	移動距離	避難方法			移動に要する時間	避難開始基準	避難階
			徒歩	車両	その他機材			
系列施設や他の同種類似施設			☐	☐	0 台			階
指定緊急避難場所	株式会社 フコク 東海 (287 m)		☒	☐	0 台			階
	洪水：福田川 0.0～0.5m未満、日光川 0.5～3.0m未満、新川 0.5～3.0m未満、木曽川 0.5～3.0m未満、庄内川 0.0～0.5m未満 津波：0.5～3.0m未満 高潮：3.0～5.0m未満							
近隣の安全な場所			☐	☐	0 台			階
屋内安全確保	施設2階	0 m						階
該当する災害リスク：3.0～5.0m未満（3階以上への避難が必要）								

高潮	避難先	移動距離	避難方法			移動に要する時間	避難開始基準	避難階
			徒歩	車両	その他機材			
系列施設や他の同種類似施設			☐	☐	0 台			階
指定緊急避難場所	株式会社 フコク 東海 (225 m)		☒	☐	0 台			階
	洪水：福田川 0.0～0.5m未満、日光川 0.5～3.0m未満、新川 0.5～3.0m未満、木曽川 0.5～3.0m未満、庄内川 0.0～0.5m未満 津波：0.5～3.0m未満 高潮：3.0～5.0m未満							
近隣の安全な場所			☐	☐	0 台			階

高潮	避難先	移動距離	避難方法			移動に要する時間	避難開始基準	避難階
			徒歩	車両	その他機材			
屋内安全確保	施設2階	0 m						階
該当する災害リスク：3.0～5.0m未満（3階以上への避難が必要）								

津波	避難先	移動距離	避難方法			移動に要する時間	避難開始基準	避難階
			徒歩	車両	その他機材			
系列施設や他の同種類施設			☐	☐	0 台			階
指定緊急避難場所	株式会社 フコク 東海 (211 m)		☒	☐	0 台			階
	洪水：福田川 0.0～0.5m未満、日光川 0.5～3.0m未満、新川 0.5～3.0m未満、木曽川 0.5～3.0m未満、庄内川 0.0～0.5m未満 津波：0.5～3.0m未満 高潮：3.0～5.0m未満							
近隣の安全な場所			☐	☐	0 台			階

- 以下に該当するか検討の上、屋内安全確保を選択するかどうかを慎重に判断する
- 家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、津波による浸水のおそれがある区域に存していないこと
 - 浸水しない居室があること
 - 一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障を許容できること

緊急安全確保

急激に災害が切迫することにより（警戒レベル5 緊急安全確保の発出などが目安）、避難確保計画に定めた場所への避難を安全にできないような、過酷な事象に遭遇した場合は以下の場所に緊急的に移動する

※本行動は、災害が発生・切迫した段階での対処であり、本来は立ち退き避難をすべきだったが、避難し遅れた際にとる次善の行動である点に留意する。

避難経路

避難先までの避難経路は、【施設周辺の避難地図】【施設建物内の避難経路図】のとおりとする。避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

【施設周辺の避難地図】



【施設建物内の避難経路図】

画像ファイルが登録されていません

設備・備蓄

避難に必要な設備の整備

記入例

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	設備等	数量	設置場所、保存場所
通常設備	ベビーカー	4	園庭
緊急時の設備	土嚢	20	倉庫

避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ	2	職員室
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末	7	職員室
	電話やファックス	4	職員室
	携帯電話やスマートフォン	3	職員室
	電池や非常用電源	3	職員室
	名簿（幼児・児童・生徒）	1	職員室
	案内旗	1	職員室
	ビブス	2	職員室
	懐中電灯	3	職員室
避難誘導	ハンドマイク	1	職員室
	雨具	5	職員室、ホール
	ライフジャケットやヘルメット	6	職員室、保育室
	避難ルートを示したマップ	1	職員室
	救急用品	6	職員室、保育室
	移動用の車両	6	駐車場
	水や食糧	84	
	衛生用品や衣料品	40	職員室、保育室
	電池や携帯充電器	6	職員室
避難先	おむつ	100	職員室、保育室
	おしりふき	2	職員室
	おんぶひも	3	保育室
	ごみ袋	10	職員室
	タオル等	10	職員室
その他			

防災教育及び訓練

防災教育及び訓練の実施に関する事項	記入例
-------------------	-----

防災教育及び訓練の年間計画

避難確保計画の作成＝防災体制の確立		実施予定時期
↓		
避難確保計画の周知	施設職員、幼児・児童・生徒や幼児・児童・生徒の家族、避難支援協力者に電子データなどで避難確保計画を共有し、周知する	4 月頃
施設職員、避難支援協力者への防災教育	- 水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認 - 過去の被災経験や災害に対する知恵の伝承 等	3 月頃
幼児・児童・生徒、 幼児・児童・生徒の 家族への防災教育	- 水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認 - 緊急時の対応等に関する保護者・家族等への説明 等	4 月頃
↓		
情報収集、情報伝達 訓練	- 施設職員の緊急連絡網の試行 - 保護者・家族等への情報伝達手段（メール・電話等）の確認、情報伝達の試行 等	4 月頃
立退き避難訓練	- 避難経路ごとに避難方法（車、徒歩など）を確認 - 施設から避難先までの避難に要する時間の計測 等	5 月頃

